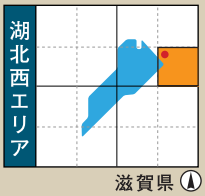
史跡
県指定

横山神社古墳（よこやまじんじゃこふん）

高月町横山　昭和57年3月31日指定



湖北町から高月町にかけての一帯には、数多くの古墳が築造され今に残っています。横山神社古墳は物部古墳群を構成する前方後円墳で、式内社横山神社が墳丘上に鎮座する謎の多い古墳です。

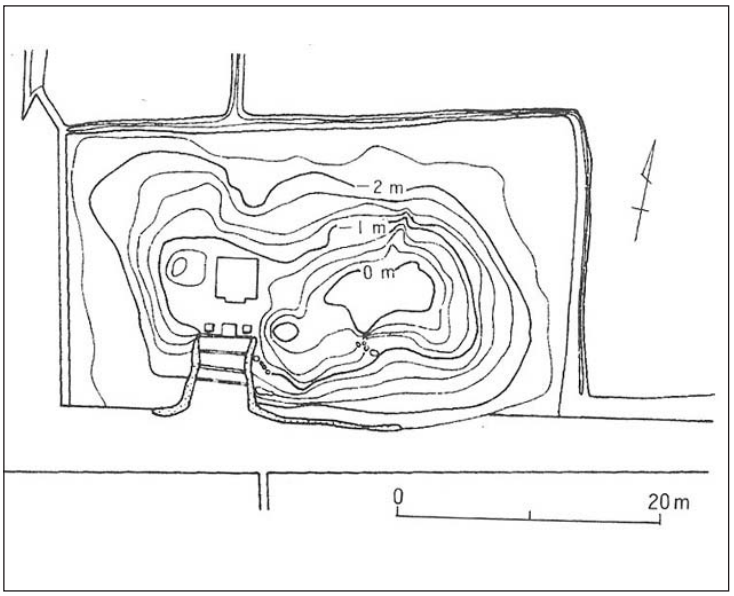
当時のできごと	
391年	倭軍 百済・高句麗を攻める
430年	倭王 讃・宋に朝貢
471年	埼玉稲荷山古墳鉄剣銘



横山神社古墳全景

物部古墳群

横山神社古墳が属する物部古墳群は、高月町の平野部に広がり、姫塚古墳（学習シートNo.064）、父塚古墳、瓢塚古墳、兵主神社古墳、物部大将軍塚古墳、生塚古墳などの前方後方墳、前方後円墳、円墳からなります。横山神社古墳はこのうち二番目に北寄りにあり、現存する長さは36m程の前方後円墳です。物部古墳群については、詳しい調査が進んでいないため明確なことはわかりません。琵琶湖に接する丘陵上に並ぶ前期古墳群の古保利古墳群（学習シートNo.037）と、物部古墳群の北の丘陵上にある涌出山（ゆるぎやま）古墳群の中間に位置しますが、各古墳の築造年代にはかなりの幅があるようです。



横山神社古墳墳丘測量図

現存する遺構

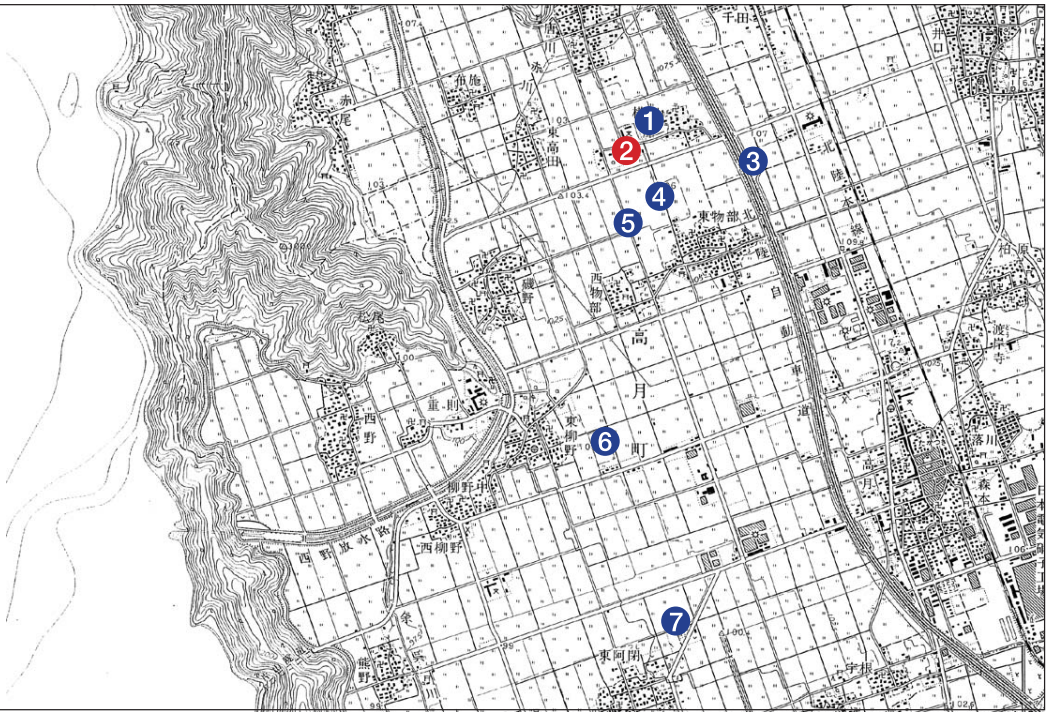
横山神社の墳丘上には、式内社の横山神社が鎮座しており、このため墳丘の形はかなり変形していると考えられますが（神社が鎮座していたため、平地にありながら今まで墳丘が残っていたのでしょう）、残された墳丘の形から、全長が36m程の前方後円墳と考えられます。後方部の南側に石材が露出していることから、主体部は横穴式石室ではないかと考えられています。



横山神社古墳墳丘

＜物部古墳群＞

1. 兵主神社古墳
2. 横山神社古墳
3. 瓢塚古墳
4. 生塚古墳
5. 物部大将軍塚古墳
6. 姫塚古墳
7. 父塚古墳



今後の課題

横山神社古墳が含まれる物部古墳群は、古墳自体、体、あるいは、その周辺部の調査がほとんど行われていないため、不明な部分の多い謎の古墳群です。古墳群の周辺には、弥生時代から古墳時代の終わりにかけて栄えた、高月南遺跡や物部遺跡などの大集落があり、これらとの関係や、琵琶湖を利用した交通路の掌握との関係など、今後解明しなければならないことがたくさん残されています。

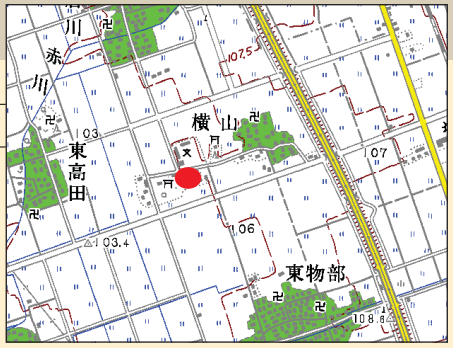
関連する文化財

古保利古墳群（高月町）	学習シートNo.037
物部古墳群（高月町）	姫塚古墳、父塚古墳など高月町の平野部にある古墳群。時代性の整理が必要
物部遺跡（高月町）	古墳時代を中心とした、玉製品を作り続けていた特殊な集落
高月南遺跡（高月町）	弥生時代から古墳時代にかけての湖北地域最大規模の集落遺跡

もっと深く知りたい

高月町教育委員会	☎0749-85-3111	伊香郡高月町渡岸寺160
安土城考古博物館	☎0748-46-2424	蒲生郡安土町下豊浦6678

横山神社古墳へのアクセス　北陸自動車道　木之本インター



【参考文献】〔近江の遺跡〕（財）滋賀県文化財保護協会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月